



2021年3月31日

各 位

会社名： 日東電工株式会社
(コード番号 6988 東証第一部)
代表者名： 取締役社長 高崎 秀雄
問合せ先： 取締役 経理財務本部長
伊勢山 恭弘
電話番号： 06-7632-2101(代表)

当社取締役会の実効性に関する評価の結果の概要について

当社は、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しました。この度、2020年度の分析・評価が完了しましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

1. 分析・評価の方法

当社取締役会は、昨年度に引き続き、第三者機関の助言を得ながら、次の方法で評価・分析を行いました。

- ①第三者機関の助言を得て、実効性評価アンケート表を作成。
- ②12月度取締役会で、実効性評価の趣旨を事務局より説明。
取締役および監査役に対してアンケート表を配布。
- ③1月中旬にアンケート表を回収。
- ④事務局が、第三者機関の分析と照らし合わせながら、アンケート結果や自由コメントを取りまとめ、実効性評価アンケート報告書を作成。取締役および監査役に報告書を配布。
- ⑤2月度取締役会で、取締役および監査役が報告書を基に取締役会の実効性について討議。
- ⑥事務局が、討議結果を取りまとめた資料を作成。取締役および監査役に資料を配布。
- ⑦3月度取締役会で、討議内容を確認し、取締役会の実効性評価の内容を検討したうえで、適時開示文書を決議。

2. 実効性評価アンケート項目

- | | |
|----------------|----|
| ・取締役会の構成 | 3問 |
| ・取締役会の運営 | 8問 |
| ・リスク管理 | 3問 |
| ・取締役会の議論 | 9問 |
| ・取締役会のモニタリング機能 | 3問 |
| ・役員のトレーニング | 2問 |
| ・株主との対話 | 2問 |
| ・役員個人の取組み | 7問 |
| ・総括 | 3問 |

計40問

3. 分析・評価結果の概要

i) 総論

取締役会の実効性は確保されているものと評価いたしました。

ii) 分析・評価

実効性評価アンケートは5段階評価で、全取締役および全監査役がアンケートに回答しました。結果、多くの質問において、「適切」または「おおむね適切」との回答がなされました(全アンケート質問の82%に相当)。特に、昨年に引き続いて、取締役会では、社外取締役・社外監査役も含めた自由闊達な議論が行われ、審議事項や時間についても、おおむね適切な運用がなされていたことを確認しました。

昨年度課題として認識した取締役会構成メンバーについては、新たな取締役を任用することにより多様性の確保を図りました。また、株主対話促進について、株主や機関投資家からのご意見に基づく討議の機会を設けました。

今年度は、昨年度に引き続きグループ全体の内部統制システム構築・運用状況の監督に関する議論に加え、ESGに関する議論の充実を課題として認識しています。また、エリア経営に対する考え方、人材育成の方針等についても意見が出されました。

4. 今後の対応

当社取締役会は、上記の分析・評価の結果を踏まえ、取締役会全体の実効性をさらに高めていくための継続的な取組みを行ってまいります。

以上